

医療機器検討会 事業報告

増田峰知*, 藤原基芳*, 脇田守基*

Annual Report of Meeting for the Study on Medical Equipment

Takanori MASUDA, Motoyoshi FUJIWARA and Moriki WAKIDA

1. はじめに

医療現場で多くの機器を取り扱う臨床工学技士は、ユーザー視点で医療機器を扱うため、医療機器に対する「気づき」が多くある。この気づきを新しい医療機器開発や、医療現場の改善につなげるため、さらには将来的なプロジェクト化を目指し、検討会を開催した。

2. 検討会の開催

検討会を2回開催した。開催概要を表1に示す。

鈴鹿医療科学大学の協力を得て、第1回は、臨床工学技士のニーズをものづくり中小企業の技術者に向けて発信するマッチングの場、第2回は、医療現場を知るメディカルスタッフとものづくり中小企業技術者のマッチングを目指し、第1回検討会で発表があった医療現場における臨床工学技士のニーズに応える形で、地域のものづくり企業の持つ医療機器向けシーズ紹介を行った。

3. 事業の実施結果

検討会を2回開催し、延べ67名の参加があった。

企業、医療関係者（臨床工学技士、作業療法士、理学療法士）、教育機関及び支援機関からの参加があり、日頃は顔を合わせる事のないメンバーでの良い交流の場であった。第2回での企業シーズ展示が奏功し、1件のマッチングが実現、この検討会の有効性が評価できる。また、企業間の繋がりができたこと、支援機関が企業シーズを把握したことで、医療分野に留まらず、今後の展開が大いに期待される場所である。



図1 第1回検討会での講演の様子



図2 第2回検討会での情報交換の様子

4. 今後の取り組み

検討会の時間が短い、もっとこのような場が欲しいという意見が多くあった。今後は、医療機関

* 電子機械研究課

表 1 平成 29 年度に開催した医療機器検討会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
第 1 回 医療機器検討会	平成 29 年 7 月 28 日	鈴鹿医療科学 大学 千代崎 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器検討会についての趣旨説明 ・臨床工学技士の現場から ・臨床工学技士関連医療機器開発と臨床工学 技士教育 	25 名
第 2 回 医療機器検討会	平成 30 年 2 月 7 日	鈴鹿医療科学 大学 千代崎 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場ニーズから開発した「カチャっと 君」開発物語 ・医療系大学発ニーズの紹介 ・臨床工学技士ニーズとものづくり企業シー ズのマッチング (企業シーズの展示) 	42 名

の協力を得て、さらに現場に踏み込み、臨床工学
技士や他の医療従事者等の要望に対して、企業側
から様々な提案ができるような場の提供を行って
いきたい。現場、企業双方にメリットのある検討
会を次年度も進めていく。

謝辞

検討会の遂行に当たり、協力をいただきました鈴
鹿医療科学大学医用工学部長伊原正教授に深謝し
ます。